

呼吸器内科

指導医からのメッセージ

呼吸器内科は、気管支喘息、過敏性肺臓炎などのアレルギー関連疾患や、COPD、間質性肺炎、肺癌や、胸膜中皮腫などの腫瘍性疾患、呼吸器感染症まで、非常に幅広く病気を診療します。これらの分野で、様々なガイドラインが学会を中心に作成されています。しかし、実臨床ではエビデンスだけでは解決できない症例が当たり前のよう存在します。そのような症例を経験して頂きながら、疾患だけではなく実際の症例をどのように解決、対応していくべきかの考え方を深める経験を積めるように指導していきます。

呼吸器内科のPRポイント

悪性疾患、特に進行期、手術不能、根治照射不能の肺癌の診療に力を入れています。免疫チェックポイント阻害剤をはじめとする、全身化学療法が治療に中心になります。そのほか上述した疾患を幅広く診療しています。

経験できる手技、技術の当科の特徴は、気管支鏡です。基礎的な扱い方、基本的検体採取の技術獲得出来る環境を整えております。